

## 編集後記

泌尿器科ト皮膚科トハ 今日デハ昔ト違ツテ 夫々専門科目トシテ全ク別ノ路ヲ進ンデオリ 共通スル所ハ殆ドナイ 従ツテ両科ガ同居シテイルノハ 単ニ過去ノ風習ガ残ツテイルノデアツテ 何ノ意味モナイノミナラズ ムシロ マイナスノ点ガ多イ 両科ハ一刻モ早ク分離シテ 独自ノ路ヲ行クベキデアリ ソレガ 両科ノ発展ニハ絶対ニ必要デアル。従来ノヨウニ 両科併セテ一ツノ科目デアルヨウナ考エ方ガ 両科ノ進歩ヲドレ程阻害シテイタカ 又 コレガ分離スルヨウニナツテカラ 両科ガイカニ向上シタカラ考エルナラバ 両科ノ分離ガ極メテ必要ナ事デアル事ハ明白デアル。然シ 分離ハ 従来カラ両科ヲ兼ネテイル医師ニトツテハ不利ナ事デアリ 不満デアロウト思ワレル ソレモ無理ノナイトコロデアル。ソレデ 或ル程度ハ ソノ人達ノ立場モ考エテ ソノ人達ニ対シテマデ アマリヤカマシク云ウ事ハ止メヨウ。然シ若イ医師 今後ノ医師ニ対シテハ コノ点ヲハツキリサセル事が必要デアル。ソコデ次ノ問題ハ 両科ヲハツキリ分離サセルニハ 具体的ニ如何ニ為スベキカデアル。ソノ方策ニハ種々アル。先ズ大学ニ於テ両科ガ講座トシテ分離スル事 次ニ大病院ニテハ診療科目トシテ ハツキリ分離スル事デアル。ソノ他ニ 両科ガ合同シテ行ウ如キ事柄ヲ廃止スル。例エバ 学会ヲ分離スル。大キナ学会ハ既ニ明ラカニ分レテイルガ 地方会トカ集談会トカノ小学会ニテハ 合同シテ開催セラレテイル事ガアルガ コレモ別ニスル。医学雑誌ニモ両科ヲ兼ネテイルモノガアルガ コレ等モ別ニスル。健康保険ノ審査員ハ現在デハ両者ヲ兼ネテイルノガ多イガ コレモ別個ニスル。コレヲ事柄ヲイツマデモ 情性的ニ ズルズルト続ケテイル事ヲ止メルベキデアル。若イ医師ハ コノ点ヲヨク理解シテイルガ 古イ教育ヲ受ケタ人達ニハ 割り切ツテイナイ人モアル。ソノ人達ニ対シテハ 非情ノヨウデアルガ ヤハリ ソレニ迎合スルコトナク 改革ノ方向ニ行カネバナラス 泌尿器科ハ コノヨウニ 皮膚科トハ縁遠クナツタガ ソノ代リニ 密接ナ関連ノアル科目ガ多ク出来テイル。ソレハ 外科 婦人科 麻酔科 内科 小児科 放射線科 神経科 内分泌学 病理学等デアル。コレヲノ諸科目ト関係ヲ保チナガラ 泌尿器科ノ独立性ヲ樹立セネバナラス

(昭和38年6月)

### 購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

### 投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します 抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。